

総研大フォーラム

# 震災、原発、エネルギー

3月11日に相次いで起きた、地震、津波、原発事故は、  
多大な苦難を人々に強いるものとなりました。

復興事業は遅々として進まず、原発事故は今なお予断を許さない状態にあり、  
今後のエネルギー政策も混迷を極めています。

今こそ、現状をしっかりと検証し、文明の転換も含めた未来構想を  
考え語るべきときではないでしょうか。

本フォーラムは、総合研究大学院大学(総研大)が主催する、  
東日本震災に関わる諸問題を多角的に検討するフォーラムの第1回で、  
多くの市民の方々が参加され、幅広い視点から  
議論が展開できればと願っています。

## 講演・パネル討論

### (第1部) 講演

今回の一連の経過について一問題提起

池内 了(総研大・学融合推進センター)

災害人類学の視点から復興を考える

林 勲男(総研大・地域文化学専攻、国立民族学博物館)

原発事故と放射能の問題について

西尾 漢(原子力資料情報室)

分散型自然エネルギー社会への転換に向けて

古屋将太(環境エネルギー政策研究所)

### (第2部) パネル討論と質疑応答

主催:総合研究大学院大学 学融合推進センター

共催:かながわ国際交流財団

日時:  
2011年10月1日[土]  
13:00~17:30

場所:  
県民共済みらいホール  
(横浜市桜木町)

入場無料(事前応募不要)



問い合わせ先

総合研究大学院大学 総務課総務係

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町 (湘南国際村)

E-mail somu1@ml.soken.ac.jp

Tel : 046-858-1500 Fax : 046-858-1542